

明治大学法学部比較法研究所主催

ジュリアン・ブドン (Julien BOUDON) 教授講演会



【日時】 2020年2月28日(金) 16時～18時30分

【場所】明治大学駿河台校舎・グローバルフロント3階403N教室

【講演テーマ】 フランス憲法学から見た Brexit

2020年1月末に実施されたイギリスのEU離脱(Brexit)は、ヨーロッパ大陸内のEU加盟国にとっても様々な新しい問題を突き付ける。それは単に経済問題にとどまらず、欧州統合における国家主権問題、レファレンダムと国会主権をめぐる民主主義のあり様、政治的決定に対する裁判的統制の問題、スコットランドやアイルランドの自治と独立運動の再燃、EU市民権の問い直しなど、改めて法理論上の諸問題を提起する。この点で、EUの中核国であり成文憲法、国民主権、基本権保障、違憲審査制などの現代立憲主義の代表国でもあるフランスの憲法学がいかなる見解を示しているのかは、同じ現代立憲主義国である日本にとって大きな関心事である。

以上の趣旨で、フランスの若手憲法学者を代表するジュリアン・ブドン教授(ランス大学法学部・現法学部長)を迎えて、現在のフランス憲法学から見た Brexit についてお話し頂きます。学生、院生、学外者も参加できます(無料。**事前連絡して下さい**)。

【スケジュール】

H・メンクハウス明治大学比較法研究所所長挨拶／趣旨説明(明治大学・大津浩)
／講演会(ジュリアン・ブドン教授)／質疑討論／まとめ(明治大学・江藤英樹)

【使用言語】 フランス語 (講演及び質疑討論には日本語通訳付き)

※講演会終了後、懇親会を予定(参加費 8000 円程度)。希望者は **2月25日までに** 大津に事前申込みをして下さい。

【連絡先】明治大学大津浩 hiotsu@meiji.ac.jp